

Jung Hyeon Ho

チョン・ヒョンホ 選手(21歳) 203cm 100kg

ホームタウン応援大使
 瑞穂市

ニックネーム
 ホー



写真: ©FC GIFU

大韓民国 水原市出身、両親と3歳上の姉との4人家族で育った。小学4年生時にサッカーを始め、小学5年生時には既に身長は170cm、安龍中学3年生時には195cm、青洲大成高校3年生時に203cmの長身でGKの道を進んできた。自分の実力不足でサッカーを諦めようとしたこともあったが、両親から悔いが残らないように頑張れと背中を押してくれたお蔭で今日があると思っている。高校時代の監督も大変熱心に指導してくれ、練習後も居残り練習のサポートをしてもらっていた。

その後Kリーグ2部の忠北青洲FCで2年間、タイリーグ1部BGパトゥム・ユナイテッドに6か月間プレーした後、韓国に戻り日本のチームを探していたところ、FC岐阜からオファーを頂き、嬉し泣きしながら両親に報告した。

目標はチームの頼りになる選手になり、まずはJ2昇格に貢献すること、またJリーグで300試合以上の出場を目標に頑張ろうと決意している。

日本は高校生の時に福岡と大分に試合で来たことがあり、人の優しさを感じ日本が大好きになった。今回岐阜で生活してみて、更に平和で住みやすく素晴らしい国だと感じた。選手達と打ち解けて日本語で話もできていますが、まだ力不足なので自宅で確り勉強している。FC岐阜の選手、コーチ陣のレベルが高く毎日学ぶことが沢山ある。少しずつプレースピードに慣れてきたことが実感でき一層の励みになっている。岐阜には素晴らしい場所が沢山あるが、岐阜駅からの夜景が特に気に入っている。

夢はJリーグで大活躍して今も韓国で活躍しているク・ソンユン選手のようになりたいと願って、早く試合に出場できるよう頑張りますと意気込む彼の応援をよろしくお願いします。

や か び か な た

屋嘉比 奏汰 選手(22歳) 170cm/65kg

ホームタウン応援大使
 白川町、東白川村

ニックネーム
 ヤカ



写真: ©FC GIFU

沖縄県那覇市出身、両親、兄と姉の5人家族で育った。サッカーは5歳から親しみ、那覇市立真地小学校時代から仲井真・真地サッカークラブで習い始め、2年生からヴィクサーレ沖縄FCジュニアに通い本格的にサッカーを始めた。那覇市立仲井真中学校時代も同じヴィクサーレ沖縄FCジュニアユースでプレーをした。幼稚園時代にサッカーを指導しに来ていた久場友弥コーチは小学4年生から中学3年生の間所属していたヴィクサーレ沖縄FCでも熱心にサッカーを指導した。そのお蔭で今日があると感謝している。サッカーを楽しむ精神をたたき込まれて、CB、MFやFWなど様々なポジションを楽しむことが出来たのは有意義だった。

高校から大阪の私立興国高校サッカー部に進み、内野智章監督からサッカーの技術、戦術や考え方などを学んだお蔭で、大阪大会で3位に入れたのが嬉しかった。大学は愛知県の私立中京大学のサッカー部に進み、インカレ大会のベスト8に入れた。大学時代の友人たちとは一緒に旅行に行ったりして交友関係は今も楽しく続いている。

FC岐阜の選手、スタッフは素晴らしい人たちで、学ぶことが沢山あり楽しく毎日を過ごしている。両親から貰った沖縄の言葉『なんくるない精神』(やることをやっていたら、どうにかなるさ!)を大事にして、日頃の練習に取り組んでいる。外食中心から少しずつ自炊生活を始め、レパートリーを増やして楽しんでいる。趣味のジャマイカ発祥レゲエ音楽の落ち着いた曲を聴くのが好きで、特に好きな曲はボブ・マーリーの「スリー・リトル・バーズ」。公式戦出場目指して頑張りますと強く意気込む屋嘉比選手の応援をよろしくお願いします。